

IUC（アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター）
創立 60 周年記念式典における
辻清人外務副大臣ビデオ・メッセージ
（日本語仮訳）

御参加者の皆様、こんばんは。

残念ながら、私は本日皆様と御一緒できませんが、IUC の歴史的な節目に、このビデオ・メッセージをお送りできることを大変嬉しく思います。

IUC 創立 60 周年おめでとうございます。創立から今日まで、IUC の活動を支えてこられた教職員、支援者の皆様に敬意を表します。

少し私のことをお話しさせていただきます。私は東京で生まれた後、学生時代のほとんどをカナダで過ごしました。IUC の加盟大学であるコロンビア大学は私の母校で、国際行政大学院で修士号を取得しました。コロンビア大学では、IUC の卒業生であるジェラルド・カーティス名誉教授の下で学びました。

言うまでもなく、IUC は日米関係、日加関係の発展に大きな役割を果たしました。創立以来、IUC は 3,000 名を超える卒業生を輩出し、学術、政治、経済、文化など様々な分野において、日本の専門家の養成に大いに貢献してきました。彼らは、まさに日米関係、日加関係を推進する第一人者たちです。

これまで卒業生の内、21 名の方が旭日章を受勲されており、また、本年度、日本語教育への長きにわたる傑出した貢献を称え、外務省から IUC に外務大臣表彰を授与させていただきました。

日本と米国及びカナダは、長年の交流を通じて揺るぎない友

好関係を築いてきました。ロシアによるウクライナ侵略、イスラエル・パレスチナ情勢及びインド太平洋地域的情勢など、今日、国際社会は歴史の転換点を迎えています。普遍的価値を共有し、国際社会を主導していく責任を有する3か国が強固な関係にあることは、3か国にとってだけでなく、国際社会の平和と安定にとっても重要です。こうした国と国との関係は人のつながりによって支えられています。この観点から、IUCが果たす役割への期待は、今後ますます大きくなることでしょう。

IUCの今後のさらなる発展を祈念し、私の御挨拶とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。